

開成学園排球部OB会  
会報 27号

## 1. 総務関係報告および活動予定

- 平成19年 4月 第25回開成・麻布定期戦開催（当番校：麻布）  
☆総合優勝☆ 開成（3連覇達成 通算16勝9敗）  
5月 年度幹事会開催  
6月 OB総会開催（30日）  
8月 会報発行  
10月 開成・城北交流戦（一勝一敗一引き分けてドロー）
- 平成20年 4月 第26回開成・麻布定期戦開催（当番校：麻布）  
☆総合優勝☆ 開成（4連覇達成 通算17勝9敗）  
5月 年度幹事会開催  
6月 OB総会開催予定（14日）  
8月 会報発行予定  
11月 開成・城北交流戦開催予定

### <開成・城北交流戦報告>（文責：平成18年卒小泉）

昨年の10月、城北高校において開成と城北両校の間で交流戦がおこなわれました。聞きなれない方もいらっしゃると思いますが、この交流戦は城北高校で先生をしていらっしゃいます宮先輩（H9年卒）と栗原先生の御尽力により実現したもので、もちろん開成バレー部においては初めての試みです。今回両校の互いの友好と切磋琢磨のために試験的に試みたもので、結果的に初回としては大成功を収めました。

内容は、高校生・中学生・若手OBの三つの部門に分けて行い、現役の練習のために1試合だけと限定せずに時間の許す限りセットを重ねました。展開は最後までどう転ぶかわからない緊迫したものとなり、トータルで中学生は城北勝利（0勝3敗）・高校生はドロー（3勝3敗）・若手OBは開成勝利（3勝0敗）、ということで一勝一敗一引き分けの痛み分けに終わりました。両校の実力が互いに拮抗しており現役の部員にも非常に良い練習になったようで、次回の交流戦が非常に楽しみなものとなりました。特に現役の高校生は実力が伯仲しており、両校ともこれからも切磋琢磨を続け以後の試合では是非上位を狙って頑張ってもらいたいと思います。

試合の後は場所を移しての懇談会を行いました。両校とも先ほどまでのライバル同士の関係から打って変わって互いに健闘を称えあい、和やかに会話に花を咲かせていました。懇談会の後は再戦を約束しこれからの両校の変わらぬ友好を誓い合いました。

今回は初回をいうこともありOBの方は佐藤先輩（昭和40年卒）・関先輩（昭和54年卒）以外はお招きしていませんが、今後はOB同士互いに声かけをしていずれば超OB戦も是非とも実現していきたいと思っております。そのときは是非ふるってご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

## ＜平成20年度 第26回開成・麻布定期戦報告＞（文責：平成18年卒米内）

今年の定期戦は、本来なら開成が当番校なはずなのですが、どうしても予定が合わないということで2年連続での麻布開催となりました。開成は昨年見事3連覇を達成し、今年は4連覇をかけて必勝を期し定期戦に臨みました。

中学戦は、190センチ超えの選手がいるなど、麻布が都大会に上位まで残るほどの強豪校であるため、終始向こうのペースで試合が進みました。向こうはサーブも良く、こちらとしてはあまり為す術がないという感じでストレート負けしてしまいました。しかし実力で上のチームに挑んでいくという気概がこちら側にあまり見られず、どんどん雰囲気が悪くなっていったのは残念でした。これからはバレーの技術という面はもちろん、精神面も磨いていってほしいと感じました。

超OB戦は、昨年、十数年ぶりの勝利にあと一步というところまでせまり、「今年こそ待望の勝利を」という期待の中で試合が行われました。超OBメンバーの諸先輩方も今年は（もちろん毎年のことですが）とても気合が入っている様子でした。しかし1セット目、開成側の勝利への期待と気負いを背に、麻布に老獪なテクニックと強烈なサーブで攻め立てられ、結果的にセットを落としてしまいました。続く2セット目。両エースの増田先輩・北村先輩の豪快なスパイクが何本も炸裂するも、こちらの勝利への焦りを見透かしたようにフェイントなどを鮮やかに決められ、残念ながらながらも続けてセットを奪われてしまいました。結果的に念願の勝利は今年もお預けとなってしまいましたが、諸先輩方の老練なプレーは、今年も見学していた現役生たちの目に印象的に映ったことでしょう。

OB戦は、今年も互いの声かけもあり幅広い年代で集まり、リラックスした雰囲気で試合に臨むことができました。1セット目、こちらは若手のOBを主体にチームを編成して戦いました。しかしその中でも超OB戦から引き続き出場していただいた北村先輩がスパイク・ブロックに大活躍、危なげなくセットを取ることができました。2セット目は、ベンチで控えていました松尾先輩を主体にチームを組みました。松尾先輩はまるで現役時代を髣髴とさせるようなスパイクを連発し、麻布に大きく点差をつけることができました。チームとしてカットが多少乱れる場面をありましたが、効果的なサーブも何本も飛び出し常に主導権を渡さず、今年も気持ちよく勝利することができました。

高校戦は、比較的開成が圧倒した結果となりました。去年のレギュラーが多く残っていたほか直前の春合宿で密度の濃い練習を積めたこともあり、かなり完成度の高いチームができあがっていました。しかし開成側は大事なところでのミスこそありませんでしたが、ところどころ細かな連携ミスや何でもよいようなサーブミスが目につき、もっと上を目指すチームとしては意識の向上とさらなる技術の研鑽が不可欠であるなという印象を受けました。この試合以降はチームとしての完成度をさらに高め、ブロックなど得意なプレーをさらに伸ばしていくことが強くなる鍵といえるでしょう。結果としてはストレートで麻布を倒しましたが、彼らの想定している相手はあくまで強豪校なのでこれに甘んじることなくさらに頑張してほしいと思います。この結果を受けて定期戦四連覇を見事達成すること

が出来ました。

その後は場所を移して懇親会、先程まではライバルとして勝利を賭けて戦いましたが、終了のホイッスルの後に戦いが終われば、そこには数10年来の良き友の姿がありました。OBは酒を飲みながら麻布・開成の同期同士現役時代の事を振り返りながら懐かしい話の花を咲かせていたようです。そして話に一区切りついたところで両校エールの交換を行い、今年の健闘を称え合いつつも来年の再戦を誓いました。

#### 参加OB (敬称略)

芥川 (S38)、佐藤 (S40)、田中・富部・結城 (S43)、小川・桑田・佐藤・山本 (S45)、関 (S54)、増田 (S59)、神波・北村・土岐 (H4)、鈴木 (H6)、飯田 (H9)、松尾 (H12)、勝井 (H14)、浅川 (H17)、梶原・米内 (H18)、金田・山田 (H19)

## 2. 平成20年度役員人事

### 役員

顧問	栗原 弘 先生	幹事長	勝井 政博 (H14 卒)
	奥山 茂樹 先生	副幹事長	増田 修久 (S59 卒)
名誉顧問	岩谷 昭史 先生		小泉 達彦 (H18 卒)
	伊藤 清一 先生	会計幹事	熊谷 達範 (S54 卒)
相談役	吉村 功 (S26 卒)		関 茂和 (S54 卒)
	進藤 定夫 (S30 卒)	監査幹事	富部 直希 (S43 卒)
	石束 晃一 (S34 卒)	総務幹事	宮 利政 (H9 卒)
	安井 高明 (S37 卒)		大内 隆成 (H14 卒)
	山本 純一 (S38 卒)		森 禎三郎 (H16 卒)
	佐藤 勇 (S40 卒)		小林 祐樹 (H16 卒)
会長	結城 教仁 (S43 卒)		浅川 洋貴 (H17 卒)
会長代行	田中 俊一 (S43 卒)		梶原 啓 (H18 卒)
副会長	片野 昭秀 (S44 卒)	HP 管理幹事	末續 信博 (H18 卒)
	矢澤 俊彦 (S48 卒)	OBチーム主将	山田 淳也 (H19 卒)
	市村 幹司郎 (S50 卒)	高校コーチ	米内 紘正 (H18 卒)
	関 茂和 (S54 卒)		山田 淳也 (H19 卒)
		中学コーチ	日高 貴弘 (H19 卒)
			加登 翔太 (H20 卒)

### 年度幹事

24年～27年	吉村 功 (26卒)	48年	矢澤 俊彦	H4年	神波 泰夫
29年～30年	進藤 定夫 (30卒)	49年	高塚 義弘	H5年	古野 徳一
31年～32年	明渡 久和 (31卒)	50年	松下 和正	H6年	鈴木 大輔
34年	石束 晃一	51年	上野 雅資	H7年	依田 秀則
35年	平松 久和	52年	老川 功明	H8年	鈴木 周
36年	三崎 哲郎	53年	野口 恭司	H9年	宮 利政
37年	安井 高明	54年	関 茂和	H10年	川原 希彦
38年	山本 純一	55年	高浪 孝勝	H11年	楓 淳一郎
39年	鈴木 康之	56年	鈴木 章弘	H12年	川原 尊徳
40年	佐藤 勇	58年	藤森 光章	H13年	丸崎 玲
41年	西山 祐二	59年	清水 誠一	H14年	勝井 政博
42年	片野 清昭	60年	草野 昌行	H15年	丹野 敬大
43年	結城 教仁	61年	津野 泰明	H16年	森 禎三郎
44年	片野 昭秀	62年	奈村 太久馬	H17年	浅川 洋貴
45年	小川 宗男	63年	和知 敏樹	H18年	梶原 啓
46年	西村 隆	H1年	小木曾和宏	H19年	金田 涼佑
47年	松田 信彦	H2年	和里田 聰	H20年	加登 翔太

### 3. 会計報告

#### 平成 19 年度 収支報告書

平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日

科目	金額	科目	金額
(支出の部)		(収入の部)	
春夏合宿援助費	¥120,000	年会費	¥527,000
現役強化費	¥80,000	受取利息	¥13,757
通信費	¥96,880	寄付金	¥1,000,000
荒川区大会参加費	¥14,000	雑費 (ポロシャツ代)	¥11,000
麻布定期戦費	¥20,000		
城北定期戦費	¥10,000		
文房具費	¥18,492		
事務費	¥74,889		
慶弔費	¥10,500		
幹事会費	¥5,830		
送金手数料	¥4,550		
コーチ交通費補助費	¥66,980		
小計	¥522,121	小計	¥1,551,757
次年度繰越金	¥4,487,874	前年度繰越金	¥3,458,238

合計	¥5,009,995	合計	¥5,009,995
----	------------	----	------------

寄付金 : 故永峰光雄氏(S30卒)ご遺族より

平成20年度 予算

平成20年4月1日～平成21年3月31日

科目	金額	科目	金額
(支出の部)		(収入の部)	
春夏合宿援助費	¥120,000	年会費	¥500,000
現役強化費	¥200,000	受取利息	¥12,000
コーチ交通費補助費	¥80,000	故永峰氏寄付金より繰入	¥100,000
通信費	¥60,000		
荒川区大会参加費	¥20,000		
麻布定期戦費	¥20,000		
文房具費	¥20,000		
事務費	¥70,000		
慶弔費	¥10,000		
幹事会費	¥5,000		
送金手数料	¥6,000		
小計	¥611,000	小計	¥612,000
次年度繰越金	¥4,488,874	前年度繰越金	¥4,487,874
合計	¥5,099,874	合計	¥5,099,874

平成20年度 予算 (故永峰光雄氏寄付金特別会計)

平成20年4月1日～平成21年3月31日

科目	金額	科目	金額
(支出の部)		(収入の部)	
平成20年度予算に繰入	¥100,000	入金	¥1,000,000
小計	¥100,000	小計	¥1,000,000
次年度繰越金	¥900,000	前年度繰越金	¥0
合計	¥1,000,000	合計	¥1,000,000

会計幹事 熊谷 達範(昭和54年卒)  
 関 茂和(昭和54年卒)  
 監査 富部 直希(昭和43年卒)

#### ※故永峰光雄氏寄付金特別会計について

昨平成 19 年 1 月、昭和 30 年御卒業の永峰光雄先輩がご逝去されました。

永峰先輩は草創期のメンバーとして我が開成バレー部の基礎を築きあげられた方です。卒業後も折にふれバレー部のことを気に留めていただき、練習、合宿等で後輩の面倒をよく見ていただいたとのこと。永峰先輩ご自身も、現役時代はアタッカーとしてその長身と俊敏な身体能力をフルに生かしてご活躍され、開成に永峰あり、と都内全域でその名を知られるほどの名選手だった、と諸先輩方から伝え聞いております。OB 総会にも数度、また開成学園食堂での創部 50 周年記念祝賀会にもご出席いただき、現役当時の貴重なお話を伺うことができました。夏の炎天下、また冬の凍てつく寒空の下、何もない土の校庭をならし、そこにポールをたてることから始まる練習、各自の米、食料持参が必須の合宿の話等、恵まれた環境の中で練習をしていた我々には想像もできない苦労の中でこの開成バレー部の土台を作っていたのだとあらためて感謝の念を強くしました。

今春、一周忌を機に、永峰先輩が愛した開成学園バレー部のために、と奥様よりご寄付の御申し出をいただきました。6 月の総会において協議をした結果、特別会計を組み、今後 10 年にわたり現役強化のために使わせていただくこととしました。多大な御厚意に対し、この場をお借りして御礼申し上げます。開成バレー部を愛して下さった永峰先輩のお気持を忘れずに、有効に使わせていただきます。有難うございました。

“永峰先輩、どうぞ安らかにお眠りください。そして、我々開成バレー部をいつまでも見守り続け、また叱咤激励してくださいますようお願いいたします。”

会計幹事 関 茂和(昭 54 年卒)

#### 4. 開成クラブ戦績 (文責：開成クラブ主将 小泉)

2008 年 4 月に前任の荒田先輩 (平成 17 年卒) から開成クラブのキャプテンを引き継ぎました。今年は荒川区の試合に二回参加することができました。結果としては一勝もあげられないという残念なものになりましたが、区の懇親会にも参加し他の荒川区チームとの親睦を深めるとともに、開成OB間での団結もさらに深めることができましたと思います。以下戦績を報告します。

##### ・荒川区第 60 回荒川区春季大会

4 月、私がキャプテンとして初めて荒川区の試合に参加しました。メンバーは井口先輩・勝井先輩 (平成 14 年)、森先輩・遠藤先輩 (平成 16 年)、小泉・大橋・米内 (平成 18 年)、金田・梅田 (平成 19 年) でした。

第 1 試合 対親和会 0-2

第 2 試合 対ユースブンタクローズ 1-2

1 試合目の対親和会戦は十分勝てる相手だったのですが、私の登録の手続き上の不備も

あり敗れてしまいました。一方、2試合目の対ユースブンタクローズ戦は相手が毎回優勝に絡んでくる強豪で、力負けという感が否めませんでした。

しかし関東大会に行った平成14年卒の代の先輩方と一緒に試合ができたことは私自身とても貴重な体験で、開成クラブの意義を深く感じることができました。

#### ・第61回荒川区秋季大会

9月には二度目の試合に臨みました。メンバーは小林先輩(平成16年)、荒田先輩(平成17年)、小泉・大橋・梶原・末続・米内(平成18年)でした。

第1試合 対ユースブンタクローズ戦 1-2

第2試合 対ばれいショ!!戦 1-2

第1試合対ユースブンタクローズ戦・第2試合ばれいショ!!戦ともに善戦し、第3セットまでもつれ込みましたが、惜しくも敗れてしまいました。この結果を受けて次の試合からは、開成クラブは2部で戦うことになりました。

しかしこの試合に臨んだメンバーは、現役時代にずっと同じチームでバレーをしてきた仲であり、大学生になった今、久しぶりにこのメンバーで試合ができたことを非常に懐かしく思うとともに、やはり開成の仲間とバレーをするのは最高だと改めて感じました。

この一年開成クラブのキャプテンを務めました。バレー部を引退しそれぞれの団体にバレーをしつつも一年に何度か一緒に試合に臨むことができる、この「開成クラブ」というチームを非常に魅力的に感じることができました。ただ試合に出るだけでなく、何かの機会にメンバーが集まりどこかの体育館で練習する・開成体育館に現役の相手をしにくいなど、他の活動の可能性も多大にあると思います。

是非次のキャプテンの山田くんも頑張ってもらいたいです。私もできる限り協力できたらと思います。

以上短いですが、戦績の報告を終わります。

#### 5. 開成中学戦績 (文責: 中学コーチ 金田)

中学コーチは私と同期の李とともにやらせていただきましたが、ここでは私、金田が報告させていただくことにします。

#### ・9月22日 荒川区民大会

第一試合 対諏訪台中 3-25 6-25

結果: 一回戦敗退

初めての試合は、相手が全国大会でも好成績を残すような強豪校である諏訪台中学校ということになりました。この時期はひたすら基礎的な練習を行っていてチーム練をあまり

やっていなかったせいか、試合中に必要とされる動きがほとんど出来ていなかった、という印象でした。特にブロックに関しては全くといっていいほど何も出来ていませんでした。さらには、サーブ、サーブカット、岡田のトスなど普段の練習からやっていたことに改善が見られなかったのは問題を感じました。

#### ・10月6日 新人大会兼シード権大会

第一試合 対尾久八幡中 10-25 13-25

第二試合 対御徒町台東中 7-25 15-25

結果：3チーム中3位

新チームとしての2回目の試合となったわけですが、相変わらずサーブミスが多かったり、前回の試合と同じようなミスを繰り返してしまいました。もはや試合慣れがどうこうという問題ではないように感じ、練習の大幅な改変を迫られました。

#### ・10月13日 ブロック大会

第一試合 対足立十四中 25-16 23-25 24-26

第二試合 対瀏江中 7-25 9-25

第三試合 対御徒町台東中 10-25 18-25

結果：4チーム中4位

前回の大会からわずか1週間後に行われたということで、具体的な対策もとれず、また不満の多く残る試合となってしまいました。唯一対御徒町台東中の2セット目は新チームになってから初めてそれなりに満足のいく内容ではありました。

#### ・10月28日 城北定期戦

1セット目 12-25

2セット目 12-25

3セット目 18-25

城北の中学生は体格の良い子が多く、かなり強いチームであるという印象を受けました。この試合の前の練習で個々に違う課題を達成させるという練習をやってみて、フォームなどに変化の兆しが見られたのですが、この試合では今までのプレーに逆戻りしてしまっていました。なお、私や李がOB戦に出ている見られなかった試合で1セットとることができたようです。

#### ・3月8日 冬季大会

第一試合 対諏訪台中(中一) 25-22 25-14

第二試合 対尾久八幡中 18-25 14-25

第三試合 対荒川七中 25-18 25-19

結果：2勝1敗

初戦の相手は強豪校の諏訪台中だったのですが、こちらが中2なのに対し相手は中1だったこともあり、勝つことが出来ました。

この日も全体的にサーブミスが多かったのですが、2試合目の尾久八幡中との試合の際にきつくサーブミスをしないように釘をさしたら、あまりサーブミスをしなくなりました。やはり個々の意識によるところが大きいのだと思いました。

個々の話に及ぶと、小枝のレフトスパイクが弱気になりがちだったのですが、強気で打っているときはよく決まっていました。またセンター山本のクイックも、きれいな形ではないにしろ、点数を取っていました。

#### ・4月13日 麻布定期戦

1セット目 8-25

2セット目 17-25

麻布には190cm オーバーの選手がいましたが、決してこの選手にやられたというわけではなく、何よりもこちらのプレーの酷さが目立ってしまいました。特にサーブカットで乱れてしまったケースがとて多く、サーブ力の違いを感じました。またそういう時に流れを変えようという意識が見られる選手もいなく、雰囲気が悪いままずるずるいってしまい、本当に何も出来ずに終わってしまいました。また、このような試合をした後にへらへらしているのを見て、やる気があるのかどうか疑問に感じ、喝をいれました。

#### ・4月20日 シード権大会

第一試合 対尾久八幡中 23-25 11-25

第二試合 対諏訪台中 13-25 12-25

第三試合 対荒川七中 25-5 25-14

結果：4チーム中3位

1試合目の1セット目は、非常に動きもよく、コート内の雰囲気も盛り上がっていて、今まで苦杯をなめさせられることも多かった尾久八幡中を相手に20点までは競った展開となりました。ただ20点以降、タイミングの悪いサーブミスなどもあってあっちに流れが行ってしまい、惜しくもこのセットを落としてしまいました。やっとここにきて見ている側としても納得のいく試合をしてくれたな、という感じがして、うれしかったです。

さんざんサーブミスが多いことを叱ってきたせいかわかりませんがサーブミスも少なく、また個々についても山本のクイックが得点源になってきたことや、勝元のレフトスパイクのミスが減ってきたことなど、収穫はありました。

ただ尾久八幡戦の2セット目以降、一気に雰囲気が盛り下がってしまい、いつも通りの彼らになってしまったのは非常に残念でした。

#### ・4月26日 ブロック大会

第一試合 対千寿桜堤 19-25 12-25

第二試合 対瀏江中 7-25 9-25

第三試合 対御徒町台東中 22-25 16-25

結果：4チーム中4位

この日は授業を受けてきた後、午後に3チームと連戦する、という形となりました。あまりアップの時間がとれなかったせいなのか、とにかく第一試合の動きは悪く、相手3校の中では一番実力的に下で、勝てると思われた千寿桜堤に惨敗してしまいました。その後、強豪校瀏江中にはなす術もなく負け、いつも歯が立たずに負けることの多い御徒町台東中と試合をしました。相手のキャプテンのスパイカーは、ブロックをしっかりつけばスパイクをふかすことが非常に多く、こちらとしては非常に助かり、今までよりも競ることが出来ましたが、結局負けてしまい、都大会に出場することは出来ませんでした。

また、この日は前の麻布定期戦で今の中学生の状況を憂慮なさっていたOBの佐藤さんが見に来られ、全員、自分が何をすればいいのかがわかっていない、というアドバイスをいただきました。試合経験が少ないのもありますが、もうちょっと実戦形式の練習を増やした方がいいのかな、と思いました。

## 6. 開成高校戦績 (文責：高校コーチ 米内)

#### ・6月10日 インハイ予選

第一試合 竹早 17-25、14-25 で負け

第二試合 創価 25-19、25-13 で勝ち

高三の高橋が抜けた以外、ほとんど全大会のメンバーを引き継ぐ、高二、高一主体のチーム編成で臨み、二日目には進出できるかと思いましたが、連携ミスやレシーブミスなど守備力で大きく劣り、初日で敗退しました。攻撃力、高さにおいては秀でているチームだったので夏休みから9月のシーズンインにかけては主に守備力の強化に時間をかけました。

#### ・9月30日 秋季大会

第一試合 都立小平南 24-26、22-25 で負け

第二試合 明治学院 25-18、25-21 で勝ち

第三試合 江北 19-25、21-25 で負け

最初の3チームリーグは1勝1敗で運良く突破できましたが、コート決勝ではサーブや二段トスのミスが相次ぎ、ミスの連鎖から自滅する形となって敗退しました。

#### ・10月28日 開成城北定期戦

計6セット 3-3

今年から始まった城北との定期戦ですが、城北との実力はほぼ互角で、よい経験となったのに加え、OB 同士の試合や、OB と現役との試合もあり、OB にとっても楽しいものとなりました。

#### ・11月18日 新人戦

第一試合 足立新田 25-22、25-20 で勝ち

第二試合 狛江 19-25、23-25 で負け

関東大会出場を念頭に置き、最後の関東予選でのシード権を狙って臨んだ試合でしたが、狛江との試合では実力は伯仲していたものの最後の勝負所で決めきれず、流れを持っていかれ惜しくも敗戦を喫しました。狛江はそのまま32シードを獲得しました。

#### ・1月27日 私学大会

第一試合 駒込学園 25-12、25-13 で勝ち

第二試合 日大三 25-8、25-10 で勝ち

第三試合 東洋 3-25、4-25 で負け

冬休みの学校合宿では、開成の若手 OB や大学生のサークルチームを招き、3日で20セット近くを行い試合経験を積みませました。その甲斐あってか、格下のチーム相手に無駄な失点をする事なく、危なげない試合運びができるようになりました。しかし都で東亜学園に次いで強い強豪東洋高校相手にはほとんど得点することができず、格上相手にどのように得点するかという課題が見えました。

#### ・4月27日 関東大会予選

第一試合 都立武蔵 25-10、25-16 で勝ち

第二試合 日本学園 17-25、15-25 で負け

春合宿で、三年前に都ベスト16に入ったメンバーに近い OB チームに勝つなど大きく成長し、1年間メンバーをほぼ固定して戦ってきたこともあり、今年こそは、と思い臨んだ大会でした。しかし結果は初日敗退。スパイク力だけで見れば、会場にいるどのチームよりも強く、初戦ではコンビを交えた派手なバレーで相手を圧倒したのですが、伝統的に強く準強豪ともいえる日本学園相手に、サーブで崩され、自分たちのバレーができないまま負けてしまいました。高三の四人のうち三人は新高だったのですが、最後まで私についてきてくれたことに感謝します。そして、彼らのバレーに対する情熱は下級生にとって、とても良い刺激になったと思います。

最後になりますが、私はもう1年コーチを続けようと思っています。この1年間は私自

身至らない点も多く、悔いの残るところもありました。そこでこれからの1年間は、絶対的に不足していたと思われる試合経験の不足を解消すべく、他の高校や大学生チーム、OBチームを招き、年間300セットを目標にチームを強化していきたいと思います。来年こそは念願の関東大会出場を果たしたいと思いますので、応援よろしく願いいたします。

## 7. 近況報告 (敬称略)

- ・TVのバレーボール中継を観戦しつつ、往時の自分と重ね合わせに思い出しております。(S25大瀧)
- ・すっかり高齢化して、よたよたの毎日です。(S26近藤)
- ・毎日が日曜日の生活です。今年から後期高齢者の仲間入りをしますが、なんとか元気で頑張っています。(S27岡部)
- ・高齢のため体力が衰えがちとなり、休養の毎日になりました。(S27新井)
- ・70歳を超え身体はガタガタとなってしまいましたが、毎日ならしながら動いています。(S30宗近)
- ・70歳を過ぎて、いまだ現役継続中です。(S31田村)
- ・中期高齢者であるも、サラリーマンを続けております。(S34杉山)
- ・昨年完全退職しまして、自由に暮らしております。(S35中島)
- ・運動はゴルフと近くを歩くだけとなっています。ゴルフは70歳までは続けたいと思っています。(S37上田)
- ・五月の中旬にメルパークでミュージカルの演奏会を行いました。(S37安井)
- ・60歳の定年を過ぎましたが、平日はフルタイム勤務で大忙しです。地元町内会でソフトボールを本気でやっていますので、まだ動けるようです。(S38玉田)
- ・先日の麻布戦では腕に痣ができてしまい、バレーボールへの疎遠さが実感されました。年に何回かできればいいと思っています。(S43冨部)
- ・現在山梨県にある都留文科大学で体育教員をやっています。バレーボールは大学のチームでずっと面倒を見ています。成績はというとまだまだですが、関東リーグで頑張っています。皆様に会える日が来るのを願っています。(S46柳)
- ・最近バレーをすることはなく、テレビでオリンピック予選を観戦する程度です。(S49柏女)
- ・三井住友海上の人事部で教育研修・能力開発を担当しています。(S50竹内)
- ・相変わらず多忙な毎日です。(S54井出本)
- ・マルハから関連企業の方に転籍しました。(S55斎藤)
- ・千葉県の旭中央病院で小児科に勤務しております。(S59松本)
- ・千葉市の市中病院で外科医をしております。(S62松崎)
- ・現在、京セラ株式会社本社経理本部にて働いております。平成4年卒の後藤も同じ部署

にあります。(S62 松山)

- ・アメリカのプリンストン大学で教鞭を執っております。8月に帰郷する予定です。(H6 今井母)
- ・一児の父となりました。(H7 岩田)
- ・二年ほど日本を離れておりました。しばらくまたこちらにいますのでお手伝いできればと思います。(H8 鈴木)
- ・昨年8月に転勤し、現在浦和在住です。(H9 市原)
- ・横浜市立大学付属病院で消化器内科として働いております。バレーの行事にもできるだけ参加したいと思いますので、よろしくお願いします。(H9 飯田)
- ・4月から東大病院外科勤務となります。(H9 日吉)
- ・千葉ロッテマリンズに勤めて2年となりました。プロの調整などをみている、自分の現役・コーチ時代のバレーボールに対する甘さを実感しました。ぜひ今度その実感の中身をお伝えできればと思っています。(H9 田沢)
- ・この6月に結婚することになりました。(H10 石井)
- ・相変わらずバレーにかかわっています。春高においても会場係をしたり、予選で下北沢成徳戦の審判をしたりしました。また何かの機会で顔を出したいと思っています。(H11 楓)
- ・体は相変わらず動きませんが、麻布戦に参加させていただきます。(H12 松尾)
- ・社会人一年目として、順調に暮らしています。(H13 羽方)
- ・元気に過ごしております。(H13 林)
- ・3月に入籍致しました。結婚にともない住所も変更になりました。(H13 中川)
- ・医学部5年生となり忙しい毎日となりました。元気にやっております。(H15 野口)
- ・現在社会人となり、鎌倉で働いております。(H16 久保田)
- ・サークルに勉強に充実した日々を過ごしています。(H18 小泉)
- ・東北大学の2年生となりました。もしお暇があったらぜひ仙台に遊びに来てください。楽しい町です。(H18 末続)
- ・慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科3年に進学いたします。(H18 小川)
- ・この春より大学2年生となりました。バレーも続けており、楽しい毎日を過ごしています。(H19 金田)
- ・日々予備校で勉強しております。(H20 高橋)

## 8. 会費納入のお願い

現役の支援および会員の交流を柱とするOB会の運営はOB諸兄の会費で成り立っています。最近の現役の好成績もOBの皆様の陰ながらのご支援があつてのことと思われまふ。年会費は社会人4,000円、学生3,000円です。5年分として20,000円まとめて納入頂けると幸



連絡不能者リスト

卒業年	氏名(敬称略)	S 6 2	花島 佳章	H 7	山本 竜太
S 3 0	石村 寛		常深 泰司	H 8	伊藤 俊平
S 3 1	菅原 理之	S 6 3	横井 宏治		谷口 信人
S 3 2	播磨 宣昌		増田 真幸		富樫 裕一郎
S 3 4	澤田 富雄		田中 泰三	H 9	金田 俊介
S 3 5	戸張 勝介		和知 敏樹	H 1 0	佐藤 巧
S 3 6	増田 邦彦		高草 誠		吉野 理
	谷川 進		内田 大介	H 1 1	鶴澤 祐介
S 3 8	須田 誠一		川口 佐実恵留	H 1 2	堀内 直樹
S 4 3	和田 一司	H 1	小木曾和宏	H 1 5	野間 泰伸
S 4 4	丹野 広蔵		向後 淳		山本 渉
S 4 9	村山 哲		末吉 範匡	H 2 0	北岡壮太郎
S 5 2	小松 雅人	H 2	松川 広乗		
S 5 3	鏑木 孝昭		和里田 聰		
	川田 兼司		藤沼 剛		
	末永 道郎		岩男 理敏		
S 5 5	深津 範寿		片田 久		
	三輪 高明		筒井 康二		
S 5 8	鈴木 信幸		小林 哲緒		
	橋本 考司	H 4	大沢 秀樹		
S 5 9	松本 弘		川村 朋哉		
S 6 0	石井 俊之		後藤 正		
S 6 1	石森 明		林 和典		
	小杉 健	H 5	木本 直宏		
	土田 智一	H 6	大田 英揮		
			鈴木 大輔		
			田端 伸之		
			松浦 恭祐		

OB会費卒業年次別納入状況(平成20年3月状況)

(物故者数)

卒業年次	会員数	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
昭和24年卒	1(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
昭和25年卒	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
昭和26年卒	5	5	5	5	5	4	4	4	3	4	5	5	4	1	0	0			
昭和27年卒	4(1)	4	4	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0			
昭和28年卒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
昭和29年卒	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0			
昭和30年卒	9(2)	6	6	6	6	4	5	5	5	4	4	3	3	1	0	0			
昭和31年卒	6(1)	5	5	5	5	4	4	4	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	
昭和32年卒	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
昭和33年卒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
昭和34年卒	5	2	2	2	2	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0			

昭和 35 年卒	6	4	5	4	4	3	3	3	3	3	3	2	2	1	0	0		
昭和 36 年卒	10	2	2	2	2	2	2	2	0	1	1	1	1	1	0	0		
昭和 37 年卒	4	3	3	3	3	3	3	3	1	3	3	3	3	3	1	0		
昭和 38 年卒	8	5	5	3	5	5	5	5	4	5	5	4	4	3	0	0		
昭和 39 年卒	8	3	4	3	4	3	3	2	2	2	2	2	2	2	1	1		
昭和 40 年卒	2	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0		
昭和 41 年卒	4	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0		
昭和 42 年卒	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0		
昭和 43 年卒	12	7	6	4	5	5	5	6	7	7	7	5	4	1	0	0		
昭和 44 年卒	3	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0		
昭和 45 年卒	8	5	6	6	6	5	6	6	6	7	7	6	4	2	0	0		
昭和 46 年卒	12	6	6	4	3	2	3	5	3	3	3	3	1	1	0	0		
昭和 47 年卒	11	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	0	0	0	0	0		
昭和 48 年卒	4	2	3	3	3	2	2	3	3	3	4	4	3	2	1	0		
昭和 49 年卒	19	15	16	9	13	13	12	17	15	11	13	8	7	5	2	0		
昭和 50 年卒	7	4	3	3	4	4	4	4	3	4	3	2	2	0	0	0		
昭和 51 年卒	3	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0		
昭和 52 年卒	7	4	4	4	3	3	3	2	3	3	3	3	3	2	2	0		
昭和 53 年卒	10	2	2	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0		
昭和 54 年卒	8	8	7	3	3	4	4	5	7	5	4	2	2	1	0	0		
昭和 55 年卒	12	4	5	6	5	5	5	5	4	5	5	4	3	3	1	1	1	1
昭和 56 年卒	6(1)	6	5	5	4	2	4	3	2	3	2	1	1	0	0	0		
昭和 57 年卒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
昭和 58 年卒	9(1)	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0		
昭和 59 年卒	8	2	2	3	3	3	3	3	2	2	2	1	1	0	0	0		
昭和 60 年卒	7	5	5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	0		
昭和 61 年卒	10	4	4	4	3	3	2	3	2	1	1	1	0	0	0	0		
昭和 62 年卒	6	3	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	1	1	1	0		
昭和 63 年卒	10	4	4	4	4	4	2	3	2	3	3	2	1	1	0	0		
平成 1 年卒	6	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0		
平成 2 年卒	12	3	2	0	0	1	1	1	2	2	1	1	1	0	0	0		
平成 3 年卒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
平成 4 年卒	8	2	3	3	3	4	5	3	3	3	2	1	1	1	1	0		
平成 5 年卒	10	2	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2	1	0		
平成 6 年卒	14	14	4	3	2	3	4	5	5	5	5	3	2	1	1	0		
平成 7 年卒	9	9	9	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	0	0	0		
平成 8 年卒	11	11	11	11	2	2	3	3	3	2	3	2	2	2	2	0		
平成 9 年卒	13	13	13	13	13	4	4	4	5	5	4	3	3	2	2	0		
平成 10 年卒	13	13	13	13	13	13	2	2	2	3	4	1	1	1	0	0		
平成 11 年卒	9	0	9	9	9	9	9	2	2	2	3	3	1	1	1	0		
平成 12 年卒	11	0	0	11	11	11	11	11	1	2	2	2	2	1	0	0		
平成 13 年卒	11	0	0	0	11	11	11	11	11	3	4	3	3	3	1	0		
平成 14 年卒	9	0	0	0	0	8	8	8	8	8	2	2	2	2	2	0		
平成 15 年卒	12	0	0	0	0	0	7	7	7	7	7	1	0	0	0	0		
平成 16 年卒	5		0	0	0	0	0	4	4	4	4	4	0	0	0	0		
平成 17 年卒	3			0	0	0	0	0	3	3	3	3	3	0	0	0		

平成 18 年卒	7									0	0	0	0	0	5	5	5	5	5	0	0	
平成 19 年卒	9									0	0	0	0	0	0	6	6	6	6	6	6	0
平成 20 年卒	4																4	4	4	4	4	
平成 21 年卒																						
平成 22 年卒																						
平成 23 年卒																						
平成 24 年卒																						
平成 25 年卒																						
平成 26 年卒																						
平成 27 年卒																						
合計	387	199	199	172	176	169	170	174	152	151	153	121	100	69	34	7	2					

開成学園排球部OB会 会報 27号

発行 平成20年9月

発行者 開成学園排球部OB会

作成・編集 関 (S54卒)、小泉 (H18卒)、  
米内 (H18卒)、金田 (H19卒)